

思いやりのある生徒

確かな学力をもつ生徒

心身ともにたくましい生徒



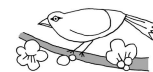
とうだい

平戸市立



生月中学校

自信と誇りもて歩め



新学期の

スタートに

寄せて

元旦は冷え込んで、曇り空でしたが、少し待っていると雲が切れ、間から射した初日を拝むことができました。いつもと変わらない風景ですが、新年の空気感というものは不思議なもので、改まった気持ちになりました。みなさんはどんな気持ちで新年を迎えましたか。さて、今年は午年で、す。そもそも十二支は、中国から入ってきた時刻や方角を表すことばで、「午」は真昼を指す言葉であつたものに（だから正午という）、分かりやすく身近な動物の読みを当てたとありました。十二支のはじまりの物語では、馬は道草を食いすぎて、7番手に甘んじたとも。そんな馬にちなんだこと

わざを引いたところ、「良馬は鞭を用いず」にあたりました。始業式で紹介したとおり、良い馬は、鞭で打たれなくとも、自分で考えて動くことができるという意味です。3学期はまとめの学期です。言われて動くのではなく、自主的に考えて動くことを心がけてほしいと思います。1年生は下級生を迎えるために、2年生は、学校の顔となるために、3年生は、進路実現を果たすために、自信と誇りを持つて歩んでいきましょう。保護者の皆様には、今年も、本校の教育活動にご理解とご協力をよろしくお願いいたします。生月中学校に関わる皆様にとつて、午年が勢いのあるいい1年でありましますように。



始業式学年代表の言葉

1年 川口□□さん

誰も独りにならないような学級にする。相手に聞こえる声で返事やあいさつを行い、自学の提出率を高め、力を合わせて、2年生になる準備を行いたい。

2年 松川□□さん

提出期限を守る。2分前着席を徹底する。自学ややりとり帳の提出率を上げる。これらに取り組み、受験生となる意識を高め、後輩の手本になりたい。

3年 田中□□さん

受験勉強や面接練習など励まし合いながら頑張っていく。学校生活をしっかりとやり遂げ、友と過ごす時間を大切にしたい。

生徒会引継ぎ式

みぞれ交じりの雪が体育館の屋根を叩く中、凜とした雰囲気の下、生徒会引継ぎ式が行われました。

旧役員の退任のあいさつでは、それぞれから自身の成長や学んだこと、協力することの大切さが語られ、新役員に失敗を恐れずに挑戦してほしいとエールが送られました。濱崎会長は、全校レクリエーションで、みんなの笑い声や全力で楽しむ姿が、やりがいややる気につながったと振り返り、新役員へ新たなことに挑戦し、よりよい生月中学校にしてほしいと思いが伝えられました。



専門委員長に委嘱状が交付された後、校旗の引き継ぎが行われました。濱田新生徒会長は、掲げた公約「個性を大事に」を達成すべく、意見発信ができるように雰囲気をつくり、活気ある学校になるように一丸となり精一杯努めていくと応えました。



新春の雪は、吉兆（いきざし）と聞きます。濱崎会長は、最後に支えてくれたみんなに感謝の気持ちを伝えました。旧生徒会の意志を引き継いで、新生徒会も支え合いながら、更なる活躍を期待したいと思えます。役員の皆さん、お疲れ様でした！